



## 支部だより

第18号

2024年9月吉日

発行：総務・渉外

委員会

### 特集記事 1

#### ～新体制スタート 支部長ご挨拶～



早稲田大学校友会  
千葉県支部長 唐松公三

4月の支部幹事会で、引き続き支部長を拝命いたしました唐松公三でございます。22年に松平前支部長の後を引き継いでから3年目になります。千葉県支部長という重責を担うには、生半可な覚悟では務まらないと肝に銘じております。早稲田大学のため、千葉県校友のために頑張っていく所存です。

さて、今年の千葉県稲門祭ですが、例年と違い6月開催となりましたが、県内各地から大勢お集まりいただきましてありがとうございました。楽しんでいただきましたでしょうか。

次に、今年の千葉県支部の活動ですが、「県支部と県下各稲門会との連携」、「稲門会横断の県全体での活動推進」、「若手及び女性校友の参加推進」などに力を入れております。一番の課題は各稲門会も年齢層が高くなり、なかなか若手の参加が少ないという点です。千葉県にはまだまだ早稲田大学出身者が大勢いらっしゃいます。折角、同窓でかつ同じ地域（千葉県）に住んでいるご縁を大切にしたいものです。年次稲門会や職域稲門会など他カテゴリーの稲門会に参加されているが、地域稲門会には参加していない方も多くいらっしゃいます。是非そういう方にも各地域稲門会や千葉県支部の活動に参加していただくよう声をかけてください。是非、みんなで千葉県全体を盛り上げて行きましょう。

千葉県校友の皆様方には、引き続きご支援・ご協力をよろしく申し上げます。以下に今年改選となった支部役員を掲載いたします。

役職名	氏名		卒年学部	所属稲門会
支部長	唐松 公三	再任	1974年 商	白井稲門会
副支部長総務渉外委員長	高橋 孝志	新任	1978年 商	流山稲門会
副支部長事業委員長	森山 泰充	新任	1973年 政経	佐倉稲門会
副支部長組織委員長	三村 達	転任	1975年 法	船橋稲門会
総務・渉外副委員長	安室 正則	新任	1989年 法	千葉稲門会
総務・渉外副委員長	椎名 俊朗	転任	1991年 商	船橋稲門会
事業副委員長	奥貫 良一	新任	1975年 法	習志野稲門会
組織副委員長	仁茂田 弘	新任	1977年 教育	茂原長正稲門会

組織副委員長	安倉 由美子	再任	1977年	教育	印西稲門会
事務局長	実籾 富二男	転任	1985年	教育	千葉稲門会
副事務局長	増井 孝史	新任	1991年	社会学	浦安稲門会
副事務局長	渡邊 英子	転任	2009年	人科	野田稲門会
副事務局長	早川 誠貴	新任	1996年	政経	佐倉稲門会
事務局担当幹事	中村 直人	再任	1984年	理工院	印西稲門会
事務局担当幹事	折原 圭太	再任	1986年	文	白井稲門会
事務局担当幹事	寺島 孝輔	再任	2000年	政経	市川稲門会
会計監査	渡邊 進	転任	1971年	商	八千代稲門会
会計監査	鶴岡 洋幸	再任	1970年	理工院	浦安稲門会

## 特集記事 1 (2)

### ～新体制スタート 副支部長（委員長）ご挨拶～

#### 総務・渉外委員会

総務委員長 高橋 孝志(1978年商卒 流山稲門会)



2024年6月1日から唐松支部長からの要請により総務・渉外委員長を拝命しました、高橋 孝志です。

簡単に私のプロフィールをご紹介しますと、1978年に母校を卒業し、紆余曲折を経て、現在は千代田区岩本町にて税理士法人を営んでおります。流山稲門会の会長としては3期目に入りました。

総務・渉外委員会の仕事としては支部だよりの作成をメインとして組織委員会、事業委員会に属さない事項を担当、また職域、年次稲門会等他のカテゴリーの各支部との連携です。

現在、県支部にはブログはありますが、ホームページがありません。任期4年のうちにホームページを立ち上げ、県支部の活動全体をタイムリーにわかりやすく各支部会員の方々にお伝えできればと思っております。私の所属する流山でも一昨年にブログからホームページへ切り替えました。ホームページはお伝えできる情報量も多く見た目も大変綺麗です。また会員の新規入会申し込みにも一定の成果を上げております。

最近、他の支部でもホームページ立ち上げの準備を行っているとお聞きます。各支部、母校校友会本部とリンクを張ってお互いの活動状況がわかりやすくなれば、稲門会活動に興味のある非会員の校友が会員になっていただける機会が増えるのではないかと期待しております。会員の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 事業委員会

事業委員長 森山 泰充 (1973年政経卒 佐倉稲門会)

このたび副支部長・事業委員長を拝命致しました森山 泰充でございます。千葉県支部の一層の充実そして発展に微力ながら努力致す所存です。

事業委員会は「①校友会費納入促進に関する事項 ②大学の募金に対する協力 ③稲門祭支援に関する事項 ④地域貢献 ⑤部会活動に対する支援」を所管することと定められています。

先達の方々が築き上げられた実績や歴史をベースにして、これからの事業委員会を運営したいと思います。なお③項の本部稲門祭支援は、今期から新たに加わった所管事項です。(本部稲門祭対応については別掲の記事をご覧ください)

千葉県下の各稲門会の多くは地域に合った特色ある活動を推進されています。そして人のつながりの大切さを大事にして、屈託なく付き合う楽しい人間関係を作り上げていらっしゃいます。これらの事例の共有や広報を推進して、各稲門会の情報交換や幅広い交流親睦を支援する方策を事業委員会で企画したいと思います。校友の皆さんが稲門会活動への参加意欲を更に高めて楽しめることにより、気持ちよく校友会費の納入や募金に協力される等で母校の支援をされ、また地域での文化・社会活動を進められるよう、地道にサポートして参ります。ご理解ご支援の程どうぞよろしくお願い致します。



## 組織委員会のスタートにあたって

組織委員長 三村 達(1975年法卒 船橋稲門会)

2024年の組織委員会は昨年の組織委員会と違い、若手校友支援のための若手会チーム、女性校友支援のためのなでしこ会チームに加え、県稲門祭企画・運営を行う県稲門祭企画・運営チームの3つのチームで構成されこの3つのチームがともに協力し合って各稲門会の活性化支援につなげていきたいと思っています。

県稲門祭企画・運営委員会は今年の県稲門祭が6月30日開催と早まったこともあり、発足すぐに活動が開始いたしました。準備期間が短かったためうまくいかどうか不安なところもありましたが皆様のご協力により好評のうち無事終了することができました。

なでしこ会は発足してある程度時間がたっており活動もだいぶ充実してきていると思います。なでしこの今年の行事は8月3日(土)に市川のル・ポワゾンでのランチ会、また8月24日(土)には柏のポッテガで同じくランチ会を行いました。

11月30日(土)には講演会も予定しています。

一方、若手会の方はこれから形作りを始める必要があります、その為には組織委員会の若手会チームが主体となって、若手会メンバーと共に若手会を盛り上げていくことが大切かと思われれます。

千葉県支部の活動は各稲門会の皆様のご協力が不可欠です。

今後ともご支援の程何卒よろしくお願い致します。



## 特集記事 2

### ～ 2024年 千葉県稲門祭 開催報告 ～

#### 2024年千葉県稲門祭

#### 『日本から、そして』～世界へ羽ばたく存在として～

千葉県支部 総務・渉外委員会  
委員長 高橋 孝志

今年の県稲門祭は例年行われる11月の最終日曜日ではなく、6月30日(日)に東京ベイ幕張ホールにて開催されました。これは、多忙な田中 愛治総長の日程にあわせたため2025年は例年通り11月を予定しております。



さて、昨年一昨年に引き続き対面とリモートのハイブリット開催でしたが、当初目標としていた500人超の参加とは残念ながらなりません。しかし、400名近くの会員が一同に会した会場は今年も熱気につつまれました。

参加人数は最終的に会員が地域稲門会、職域稲門会合わせて373名、来賓8名、学生が応援部21名、早稲田祭スタッフ4名となりました。

受付開始は午後1時、懇親会最終は午後6時半過ぎとなりました。

今年の県稲門祭のテーマは『企業の世界進出と早稲田大学の「世界の早稲田」への気持ちを込めて』と決めさせていただきました。

#### 第一部 講演会 午後1時30分～2時30分

日色 健人さん(船橋稲門会)の司会でスタートしました

講演者 小澤 隆生氏 前ヤフー株式会社 代表取締役社長

演題『事業成功のポイント～楽天イーグルス、  
PayPay立ち上げから  
考える成功のポイント～』

県稲門祭の講演会は毎年稲門OBの各界でご活躍の方にお呼びしてきましたが、今年もユニークな経歴の方をお呼びしました。小澤さんは楽天の三木谷さん、ソフトバンクの孫さんという強烈な個性のトップの直属の部下であった経験をお持ちです。

プロ野球球団、楽天イーグルス立ち上げの時の球団代表で会った時ご苦労なされたお話や、皆様ご存じのあのPayPayについてはその立ち上げから関わったそうです。特にPayPayのネーミングは小澤さんの発案であったことを是非この講演を聴かれない他の方々に伝えて頂きたいとのご本人のたつての要望がありましたのでここに記しておきます。



## 第二部 総長懇談会 午後2時20分～3時55分

唐松 県支部支部長のご挨拶から第二部が始まりました。

支部長からは新体制になった県支部幹事会のこと、今年も対面とオンラインのハイブリットになった県稲門祭のこと、引き続き県内各支部の交流の強化、大学及び校友会本部との連携強化のお話がありました。

続いて校友会本部から萬代 晃代表幹事からのご挨拶があり、毎年盛大に行われる千葉県稲門祭に対するご評価のお言葉と、大学に対する継続的支援、寄付のご依頼がありました。

いよいよ田中 愛治総長の総長懇談会です。

総長は大変ご多忙で前月に米国出張などがあり、疲労のため腰を少々痛められていたようで少々歩行がつかうようでした。しかし、約50分間にわたり熱弁を振るわれました。早稲田大学は2032年に創立150周年を迎えますが、「世界で輝やくWASEDA」を実現するため何をすべきか？貢献の早稲田、研究の早稲田、教育の早稲田 この3つを軸に早稲田が進むべき道筋についてのお話がありました。

この後ご来賓の紹介がありました。

松尾 亜弓早稲田大学校友会総長室長 本間 千佐子校友会事務局長 水澤 宏之千葉県地域担当課長・研究支援課長 吉田 誠男東京都23区支部支部長の方々です。



## 第三部 懇親会 午後4時30分～

司会は安倉 由美子さん(印西稲門会)です。

今年オープニングでウェルカムミュージックとしてデキシールランドジャズバンド「ニューオールリズホットストーンパズ」7名によるジャズの演奏でスタートしました。

生バンド演奏を聴きながら会員の皆様の入場が終わり、開会のご挨拶は今回の実行委員長である私 高橋が務めさせていただきました。



乾杯の音頭は大塚 宗春早稲田大学名誉教授にお願いしました。

大塚名誉教授とは今年の習志野支部の総会でも同席しましたが、私自身半世紀前に授業を受けており良い思い出となりました。

懇親会では会員の皆様が他の支部の方と旧交を温め又記念撮影を行っておられました。早稲田祭スタッフはこの時間を利用して各テーブルを回り寄付を募っておりました。食事については一定の評価を得られたと思います。

途中遅れて来られた熊谷 俊人知事のご挨拶がありました。



早稲田大学応援部メンバーによる生演奏及びチアリーダーの振り付け、応援部リーダーの指導の下、応援歌、校歌を参加者全員で唱和しました。

最後に、西 修一副実行委員長から閉会のご挨拶があり、参加者皆様への感謝を述べられ、来年の県稲門祭は例年通り11月末の開催であることをお伝えし無事お開きとなりました。

## ◆TOPICS 1

### 4代目なでしこ早稲田in千葉リーダー就任のごあいさつ

2015年人間科学部卒  
なでしこリーダー橋本 美恵子

この度、4代目なでしこのリーダーを仰せつかりました船橋稲門会の橋本美恵子と申します。

平日は児童相談所の児童福祉司として仕事をしています。私の力不足の部分元リーダーの先輩方にサポートしていただきながら、多くの女性校友が楽しく集い、お互いを高め合えるような企画、運営を行っていきたく思っております。

さて、今年度の最初のイベントとして、『校友会の魅力発見！3拠点で集うワセ女のランチ会』を企画致しました。第一回目の8月3日（土）の市川ランチ会には、新規会員を含め10名がご参加くださり、美味しいフレンチ料理を堪能しながら、本学のボランティア活動WAVOCの話題や会員同士の楽しいおしゃべりに花を咲かせ大盛会となりました。今後も8月24日（土）柏、31日（土）津田沼のランチ会も大いに楽しみます！

秋季には、10月5日、『大人の遠足 黒沢永紀氏による佃島コース散策&スペインレストランで懇親会』、11月30日、マスコミで注目を浴びているワセ女、一級建築士高原美由紀氏の講演会『部屋づくりの法則 ちょっと変えれば人生が変わる』を企画しています。

更には、県外の女性校友など垣根を超えた交流も行っていきたいと考えています。

今後ともなでしこの活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## ◆TOPICS 2

### 2024年稲門祭のご案内

八千代稲門会 石橋 純治

2024年稲門祭及びホームカミングデーが10月20日（日）に早稲田大学構内において開催されます。

千葉県支部も千葉県物産の販売そして県支部活動のPRを目的として出店致します。販売品目は落花生各種（Qナッツ、みそピーナッツ）、キッコーマン醤油（さくさく醤油）、大漁旗コースターです。コロナ明けの今年はアルコールが解禁となりましたので、おつまみになるピーナッツ中心にかなり売れるのではないかと思います。数量を昨年よりかなり増やしております。



本年より、稲門祭支援に関する事項が事業委員会の所管となりましたので、森山委員長、奥貫副委員長を中心に打合せ等を重ね、現在、稲門祭当日を待つばかりとなっております。店長は石橋がつとめますので皆様こそご来店下さい。出店場所は7号館と11号館の間で、大隈重信像のすぐ近くです。お待ちしております。



## ◆TOPICS 3

### 7期ぶりの六大学野球

#### 早稲田優勝観戦

佐倉稲門会 松川 泰三

佐倉稲門会恒例の六大学野球早慶戦観戦。今回は7期ぶりの優勝が懸かった6月2日(日)、参加者5名がバックネット裏で第二試合を観戦。



天気予報で午後雨天予報が出ていましたので雨具持参で入場。試合結果は12対2で前日の8対1に続き久しぶりの早稲田の圧勝。

昨年春の早慶戦観戦時は1対15で点差では過去最大で歴史的な大敗で今日はもういいかなと7回くらいで切り上げて近場で懇親会へ。昨年は慶応高校が全国高校野球全国制覇、大学選手権も慶応が優勝で慶応一色。

当日6月2日は案の定、試合途中で激しい雨に遭遇、雨具のまま退席せず降雨の止むのを待って試合再開。通常なら途中で切り上げて懇親会に移動する所ですが、今回は7期ぶりの優勝が懸かっているのと同様に濡れながら最後まで観戦、小宮山監督の優勝インタビューを聴いて退場して信濃町で軽く祝勝懇親会へ。

早稲田もチアガールに加えて応援団に多数の女性陣でチャンス時のコンバットマーチのエールにも壇上に女性応援団が登場で早稲女も一層の活躍。

慶応側には元プロ野球スターの清原氏の長男も3番バッターで登場 中2塁打、左安打と活躍で興味深く観戦、やっぱりスター選手の子息は慶応に行くのかなと。



旧来から早慶戦野球は順位や優勝争いの有無に関わらず、NHKでテレビ中継がなされ選手は元よりOBも有難い次第。

早慶野球、早慶ラグビー、早慶レガッタ、など気楽に懇親を兼ねて観戦に足が向くのも

、早稲田が母校が故にかと思う次第です。

## ◆TOPICS 4

### 大学は今—校友会奨学金奨学生証授与式

2024年6月20日(木)、大隈講堂において校友会奨学金奨学生証授与式が執り行われ、校友会幹事として出席して参りました。

現在、校友からの支援で給付している奨学金には、「めざせ!都の西北奨学金」「校友会給付奨学金」「安部磯雄記念校友会奨学金」「スポーツ奨励奨学金」「校友会トップアスリート奨学金」「校友会海外派遣留学奨学金」の6種類があり、約1,000人の学生を支援しています。いずれも返済不要な給付型奨学金となっており、我々が納入している校友会費はこれらの奨学金の原資として母校支援・学生支援に充てられています。

今年はこのうち4つの奨学金に488人が採用され、田中愛治総長よりそれぞれ代表の学生へ奨学生証が授与されました。当日は約400人の奨学生が出席し、萬代晃校友会代表幹事や藤田誠理事からのご挨拶もいただきました。授与式の後は懇親会も開催され、奨学生と校友が交流を図りました。私は北海道・東北地方出身学生のテーブルに就きましたが、どの学生も奨学金により学生生活がより有意義なものになるだろうと喜んでいたことが印象的でした。最後は応援部のリードで校歌斉唱し、参加者一同での記念撮影をしてお開きとなりました。



奨学生のみなさんは10月に開催される稲門祭にも参加されるとのこと、また交流できるのを楽しみにしております。

渡邊 英子(2009年人科卒 野田稲門会)



## 編集後記

総務・渉外委員会

2024年度 『県支部だより』 編集メンバー

高橋孝志	1978 商	委員長 流山稲門会
安室正則	1989 法	副委員長 千葉稲門会
椎名俊朗	1991 商	副委員長 船橋稲門会
笠井敏晴	1972 教	流山稲門会
大山 徹	1975 理工	船橋稲門会
稲葉隆	1976 政経	佐倉稲門会
深山秀文	1986 法	茂原長生稲門会
渡邊英子	2009 人科	副事務局長・野田